

## 広島県がん検診に行こうよ！キャンペーン 協力報告

報告：NPO 法人ひろしまピンクリボンプロジェクト

info@pinkribbon-h.com、082-544-0727

日時と場所：2017年7月21日（金）15:30～17:30、マツダズームズーム球場 かば広場  
調査の名称と目的：

### 「乳がん検診についての認知と行動」

乳がん検診についての知識の普及と実際の行動を知るために、ミニ調査を実施する  
方法：

4つの質問を準備して、該当する回答箇所にシールを貼ってもらって回答とする。

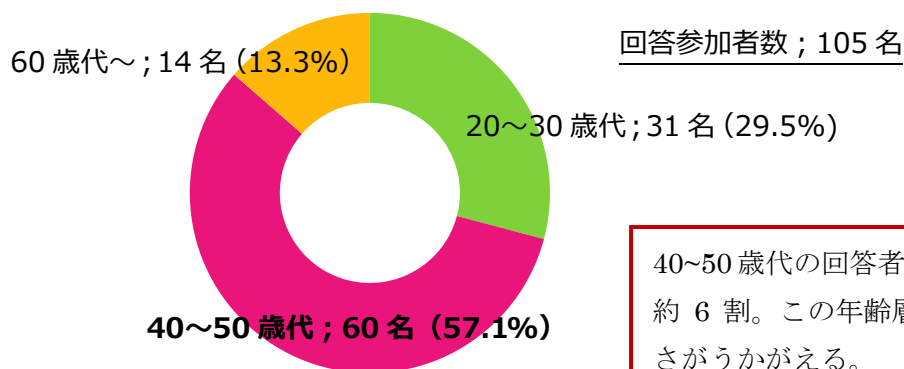
年代別に3グループに分けてシールの色で把握することにした。

来場者の任意の自発的な参加によるものとした。積極的自発的な参加が多かった。

なお、回答参加者を乳房モデルによる自己触診体験へと誘って、約6割の参加をみた。

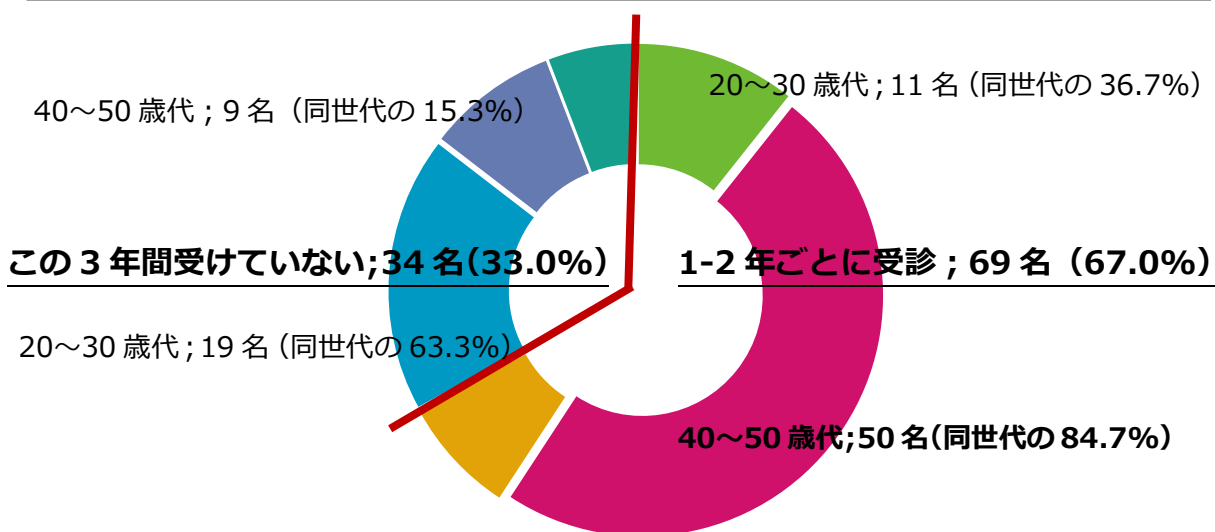
結果：

### 年代別回答者数と割合



### 質問1：乳がん検診を受けていますか？

- (1) 1～2年ごとに受診 69名 (67.0%)  
(2) この3年間受けていない 34名 (34.0%)



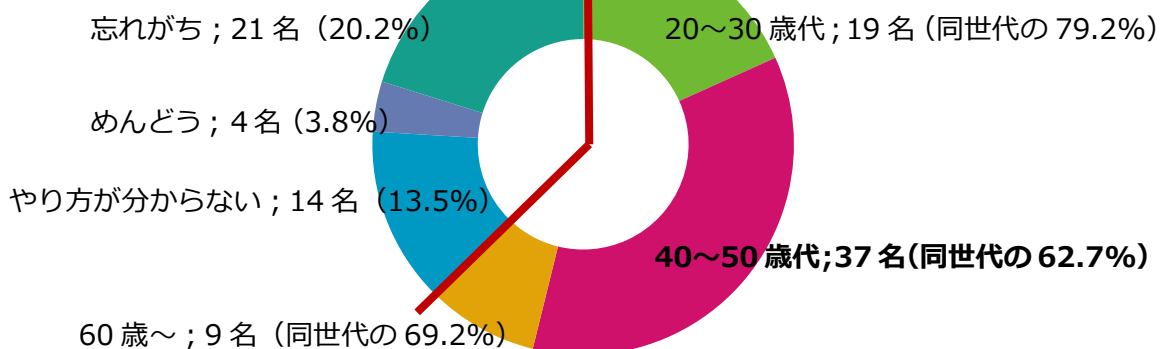
40～50歳代では、同世代層の約85%が1～2年ごとの検診受診を実行していて、乳がん検診受診の定着がうかがえる。

## 質問2：自己触診をしていますか？

- (1) している 65名 (62.5%)
- (2) していない 39名 (37.5%)
  - (2)-1 やり方が分からない 14名 (13.5%)
  - (2)-2 めんどく 4名 (3.8%)
  - (2)-3 忘れがち 21名 (20.2%)

していない ; 39名 (37.5%)

している ; 65名 (62.5%)



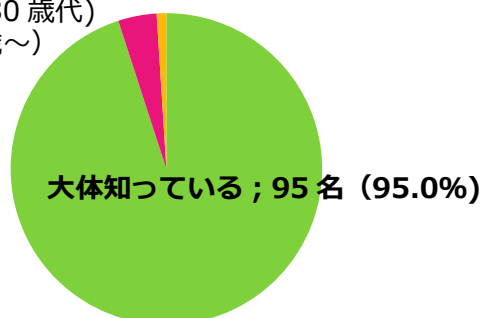
「自己触診をしている」と回答した人は全体で約6割であった。その中で40~50歳代の実行率が、最も低い。乳がんについての意識が高い世代なのだが、この世代の25%が「忘れがち」を理由に自己触診を習慣化していない。

「していない」にあたる回答は、全体で約4割あり、そのうち「やり方が分からない」の回答は、1割を超える程度であったが、乳房モデルで触診の体験をすると、「こんな風に丁寧にしなければ、分かりませんね」と、納得される様子だった。自己触診の習慣化と、適切な触れ方については、さらに啓発が必要と考えられる。

## 質問3 マンモグラフィー検診について知っていますか？

- (1) 大体知っている 95名 (95.0%)
- (2) よくわからない 5名 (5.0%)

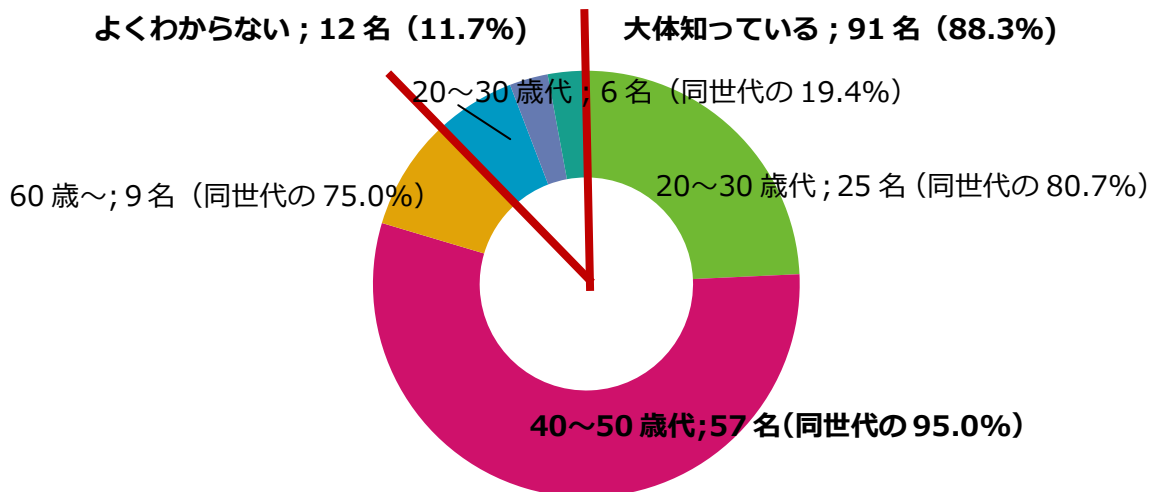
よくわからない ; 4名 (20~30歳代)  
1名 (60歳~)



マンモグラフィによる乳がん検診については、社会的な周知が進んでいるといえよう。95%の回答者が、「大体知っている」とした。「よくわからない」との回答は、この質問への回答者100名のうち5名のみで、40~50歳代では0名であった。

**質問4 エコー検診について知っていますか？**

- (1) 大体知っている 95名 (95.0%)  
 (2) よくわからない 5名 (5.0%)



エコーによる検診についても、9割近い回答者が「大体知っている」と答えている。40~50歳代では、同世代層の95%が「大体知っている」と回答している一方で、20~30歳代では同世代層の約2割、60歳以上では25%が「よくわからない」と回答している。乳がん検診受診の認知が進む一方で、20~30歳代、60歳以上の年齢層、当然理解されているとみなされて取りこぼしを生じる40~50歳代へは、さらなる情報の浸透が必要であり、今後世代層の特徴を捉えきめ細かに啓発に取り組むことが大切であると考えられる。

**回答結果集計表：乳がん検診についての認知と行動 (2017, 7, 27 かば広場で実施)**

質問項目	回答者数			合計
	20-30代	40-50代	60代~	
乳がん検診を受けていますか	30	59	14	103
1~2年ごと	11	50	8	69
この3年間受けていない	19	9	6	34
自己触診をしていますか	31	59	14	103
している	19	37	9	65
していない				
やり方が分からない	8	5	1	14
めんどろ	0	2	1	3
忘れがち	2	15	4	21
マンモグラフィ検査について知っていますか	28	59	13	100
大体知っている	24	59	12	95
よくわからない	4	0	1	5
エコー検査について知っていますか	31	60	12	103
大体知っている	25	57	9	91
よくわからない	6	3	3	12